

「エンゼルケアのその後 ～最良のお姿でお見送りするには～」

2020年2月21日 金

時間：19:00～21:00

場所：なじみギャラリー 徳島市吉野本町6-42 コレクティブハウスなじみ1F

対象：訪問看護師を中心とした医療・介護職
特に、お看取り後のエンゼルケアに関わる看護師・
介護士の皆様。尚、内容が特殊ですので
一般の方はご遠慮ください。

医療者は、人が病気や障害によって苦しむのを癒し治療を行うことが本来の仕事です。
しかし、人は最終的には亡くなりますので、最期のお看取りも大切な仕事の1つです。
医師は死亡確認の後、死亡診断書を作成することで、看護師は死後の化粧や身繕いを行う、いわゆるエンゼルケアで患者さんとの関わりは終了します。
その後は、葬儀関係の職種の方が葬儀の終了までとり仕切ることが通例です。
医療介護者は、自分たちが関わった方が死後どのような経過をたどるのかわかる機会ほとんどありません。
今回は、納棺師として死後のメイクを数多く手がけてきた齋藤敦子氏をお招きして、死後の状態変化の様子や、生前の姿に近づけるためのご遺体のケア・メイクの実際を、豊富なスライドを交えてお話頂きます。
明日からのお看取り際にきつと役立つ内容になると思っています。



■ 納棺士 齋藤 敦子さん

1960年8月生まれ、埼玉県蕨市生まれ蕨市在住。ご遺体ケア・メイク、グリーフサポート。修復・復元、納棺士。2003年、ふと見かけた「人に喜ばれる仕事です」という求人広告の言葉に惹かれパート面接を受けたのが納棺の会社でした。医療も葬儀もメイクの仕事の経験もなく戸惑いながらでしたが、とてもやりがいを感じ技術を磨きたいと専門の方々から教えるを受け技術を深めてきました。2007年に独立アイシスを立ち上げる。何よりも故人様からたくさん学びを得ながら仕事を続けています。

現在は修復や復元を専門とし、普段は納棺業で故人様やご遺族とお会いしています。より良いお見送りのために、医療関係、介護関係の方との連携が大切だと思い、病院や介護関係への講演もしています。

■ 進行役

おおた在宅クリニック 院長 太田 敦
愛知県出身。大学卒業後一般企業勤務。徳島大学医学部卒業。徳島健生病院初期研修。京都家庭医療学センター家庭医後期研修。岡山家庭医療センター勤務。愛媛県松山市たんぼほクリニック勤務。2018年10月より、おおた在宅クリニックを徳島市吉野本町に開業、現在に到る。



*駐車場スペースに限りがございますので、できるだけお乗り合わせの上お越しください。

企画／ **おおた在宅クリニック**
Ota Home Care Clinic

お問い合わせ Tel 088-656-3001
Fax 088-603-8227
www.ota-hc-clinic.com

